

令和3年度香川大学入学式 学長告辞

本日、香川大学 6 学部に入學された 1,334 名の学部学生の皆さん、大学院 7 研究科に入學された 284 名の大学院生の皆さん、ご入学誠にめでとうございます。皆さんを今日まで支えて来られたご家族や関係者の皆様には心よりお祝いと感謝を申し上げます。今年度の入学式は 2020 年初めから続く新型コロナウイルスの感染拡大のため、本部と中継をつなぎながら分散キャンパスで挙行しております。学長として皆さん一人ひとりに直接お話できないことを大変残念に思っておりますが、心を込めてこのメッセージを送らせていただきます。

香川大学は 1949 年 5 月に創立し、今年で 72 年目を迎えました。2003 年には香川医科大学と統合し新香川大学となり、目まぐるしく変化を続ける 21 世紀社会で、地域や日本、そして地球が抱える様々な課題に立ち向かう有為な人材を育成する総合大学として新たな歩みを進めています。その一環として、創立 70 周年を期して香川大学校友会を 2 年前に設立しました。これまでは、6 学部それぞれに同窓会組織はありましたが、香川大学校友会はすべての学部と研究科の卒業生・修了生・在学生と大学の教職員が連携して、香川大学を一丸となって支援する組織です。在学生である皆さんへの

支援を手厚くし、皆さんの大学での生活や活動を校友会として支援してまいります。皆さんが在学中は、この校友会の支援をありがたいものとして受けていただき、卒業後は正会員として香川大学を支えていただくこととなります。

さて、新入生の皆さんは入学試験という難関を見事に突破されて今日の晴れの日を迎えられました。これから様々な学びを体験していくこととなりますが、大学に入学したからと言って急に学ぶ事柄が大きく変化するわけではありません。まずは先人の知識と知恵をたどりながら皆さんの知識基盤を分厚くしていく作業が続きます。しかし、これまでの学びと大きく異なる部分もあります。これからは、自ら問いを立てて、その問いに対する答えを自ら探す作業が増えていきます。もちろん大学は皆さんが問いを立てるにあたって助言や支援はしますが、あくまでも主役は皆さんです。今回の入学試験を含め皆さんがこれまで経験した試験は、すべて解答がありました。しかし、大学では解答を考え出すどころか問題そのものも自分で探さないといけない経験が増えていきます。自ら問題を探し出し解決策を考え出していく能力を身に付けていただくため、香川大学では D と R と I からなる 3 つの教育の柱を据えています。一つ目の柱 D はデザイン思考教育です。香川大学では 2018 年度に工学部を改組し、創造工学部を

開設したのを機に教育の柱の一つとしてデザイン思考教育を開始し、現在は全学共通教育にも展開しています。デザイン思考は、少人数のグループによるチームワーク作業で新しい解決法やアイデア、さらには価値を見出すための思考方法です。複雑化した課題を解きほぐし、何が本質的な問題なのかを見極め、その解決法を考え出し、新しい価値を生み出すプロセスを学んでください。将来、様々な専門領域で働く際にきっと役に立つと思います。二つ目の柱 R はリスクマネジメント教育の R です。今年は東日本大震災から 10 年の節目を迎えています。巨大地震と津波が襲い掛かり、さらには福島では原発事故が発生し想定外の惨事と言われました。そして現在は、新型コロナウイルスによるパンデミックに人類すべてが苦しんでいます。しかし、これらは本当に想定外だったのでしょうか。本当はこういった災害や惨事の多くには予兆があり、また歴史が教えているのではないのでしょうか。人間は当座しのぎの根拠のない楽観主義に陥りやすい傾向があります。リスクを予見し、回避する方策を立てておくことはあらゆる領域、あらゆる場面に必要で、これから 21 世紀を生き抜く皆さんにとって必須の能力となると考えています。三つ目の柱 I は Informatics 教育の I です。すでに 5G の世界に突入していますが、高度な情報通信技術や人工知能を活用するための基礎的な知識や

スキルは皆さんを大いに助け、仕事の効率化に役立ってくれます。言葉を変えると、AIや高度情報通信技術は皆さんを人間にしかできない仕事に集中させてくれる友達になるはずで、その能力を高めることは、今回のコロナ禍でも証明されたように、危機を救ってくれる大きな力にもなります。今年からPCは全学部生が必携となりました。大学からの皆さんへの情報はすべてHPや教務システムアプリなどで流します。PCやその他の情報端末を賢く利用して、学びのスキルアップを図ってください。

話は変わりますが、香川県は日本一面積の小さな県です。しかし、陸と海の境界線である海岸線は日本でも面積比でベスト3に入るほどの長さがあります。地球温暖化や海洋汚染など現在この地球が抱える問題の多くが香川県や瀬戸内の海岸線に沿って表出していると言えます。我々が愛する日本の国土や地球そのものも人間の体と同じです。人間の体は毎日呼吸を続け、心臓が鼓動を打ち、定期的に栄養を体外から摂取し、老廃物を排出して命を継続しています。この一連の営みの回転を継続することで健康は維持されています。大都市圏にあらゆるものが集中する一極集中型の日本の国土は今、この健康的な循環サイクルが滞ろうとしています。今から約4年前、日本の研究者たちが人工知能を活用して2050年まで

の日本の行く末のシミュレーションを行いました。約2万通りのシナリオが検証され、その結果2050年に至っても日本が健康を維持できるのはたった一つのシナリオでした。それは10年以内に都市集中型から地方分散型に方向転換すること、さらにその後の20年をかけて様々な政策転換を行いながら地域内の経済循環が十分に機能するようにしなければならないというシナリオでした。人工知能が示唆するように大方針転換の時期を迎えている我が国ですが、この大方針転換の中心的担い手となるのが、今日入学式を迎えられた皆さんです。

おりしも新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、「ニューノーマル」という不思議な言葉を耳にするようになりました。これまでの「当たり前」が大転換して「新しい当たり前」が登場したような感じです。人々の暮らしただけではなく社会の仕組みも大きな転換点にさしかかっているこの時期に大学生活を開始される皆さんは、ある意味でとても面白い時代に学生生活を送ることになります。これから開始される新学期では大学のキャンパスでの通常の講義は、密集を避けつつ感染対策をしながら進める予定です。皆さんは常にPCを携行してキャンパスに来ていただき、臨機応変に遠隔授業にも対応していただくことになります。これも新しい時代の大学生活だと思ってどうか楽しみな

がらやってください。

今年の香川大学のキャッチフレーズは‘Now or Never’です。新入生の皆さんは、今しかできない挑戦、ここでしか出来ない経験を躊躇せず失敗を恐れずにトライしてください。香川大学は、皆さんの学びがどのような局面になっても継続できるように教職員一丸となって支援していきます。皆さんの入学後の活躍を期待しています。

令和3年4月3日

香川大学長 笥 善行